

部門紹介

機能性素材

鶏卵・野菜・緑茶・乳酸菌など、私たちの身近な食品素材から生理活性物質を探索し、科学的考証に基づいた素材開発を行っています。

通信販売

当社の機能性素材を使用した健康食品や化粧品の販売を行っております。

創薬

ニワトリの免疫システムや鶏卵に含まれる成分から新薬を創出する骨形成ペプチド創薬事業を行っております。

連結財務諸表

※当社は当第1四半期会計期間から四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前第2四半期連結累計期間については記載しておりません。

▶▶ 四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期末 (平成28年1月31日現在)
(資産の部)	
流動資産	3,166,756
固定資産	1,305,731
有形固定資産	728,529
無形固定資産	7,222
投資その他の資産	569,978
資産合計	4,472,487
(負債の部)	
流動負債	858,604
固定負債	548,510
負債合計	1,407,115
(純資産の部)	
株主資本	3,022,486
資本金	2,031,278
資本剰余金	1,881,982
利益剰余金	△ 890,774
その他の包括利益累計額	36,025
新株予約権	6,405
非支配株主持分	455
純資産合計	3,065,372
負債・純資産合計	4,472,487

▶▶ 四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期(累計) (平成27年8月1日から 平成28年1月31日まで)
売上高	1,683,739
売上原価	517,518
売上総利益	1,166,221
販売費及び一般管理費	1,607,938
営業損失(△)	△ 441,717
営業外収益	43,190
営業外費用	13,965
経常損失(△)	△ 412,492
特別利益	2,135
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 410,357
法人税等	1,137
四半期純損失(△)	△ 411,494
非支配株主に帰属する四半期純損失	△ 2,044
親会社株主に帰属する四半期純損失	△ 409,450

▶▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期(累計) (平成27年8月1日から 平成28年1月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 317,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	774,328
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6,003
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	438,592
現金及び現金同等物の期首残高	1,508,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,947,120



株式会社ファーマフーズ

第19期 中間報告書

平成27年8月1日から平成28年1月31日まで



平成28年4月
代表取締役社長 金武祐

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第19期第2四半期連結累計期間(平成27年8月1日から平成28年1月31日まで)の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和政策の継続を背景に、輸出企業の業績や雇用情勢が改善したものの、中国経済の減速や円高の影響等により先行き不透明な中で推移いたしました。

このような環境下において、当社は「医薬」(Pharmaceuticals)と「食」(Foods)の融合「ファーマフーズ」(Pharma Foods)を目指し、積極的な事業展開を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,683百万円となりました。利益面では、通信販売事業において将来を見据えた積極的な先行投資を第2四半期までに集中して行い、広告宣伝費938百万円を計上した結果、営業損失は441百万円となりました。

費用が先行発生しておりますが、1月単月では黒字化を達成しており、下半期以降も収支は大幅に改善していく見込みです。

この他、創業事業等による補助金収入32百万円、為替差損8百万円等を計上した結果、経常損失は412百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は409百万円となりました。

各セグメントの業績の概要は、次のとおりです。

<機能性素材事業>

機能性素材事業では、当社の根幹事業である機能性素材の開発、販売及び機能性素材を配合したOEM(Original Equipment Manufacturer)製品の企画、販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間では、引き続き「GABA(ギャバ)」の展開に注力してまいりました。国内では「機能性表示食品制度」への取り組みを積極的に進めており、昨年から機能性表示食品「GABAX(ギャバックス)」が発売開始されており、好調に推移しております。また、複数の食品メーカーにおいて、「ストレス」「疲労感」「血圧」について、機能性表示の届出が受理されており、順次販売が開始されます。

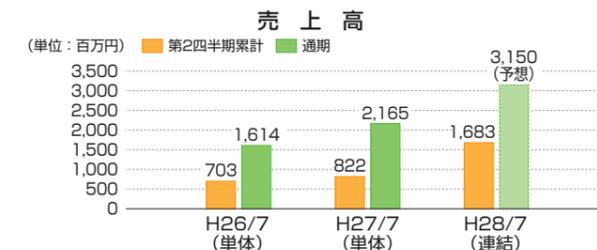
海外では、中国において前期より複数の世界的な大手メーカーと「GABA」の取引を開始しております。今期に入りましても引き続き積極的な営業展開を行ってきた結果、大口の受注を継続して獲得しており、大幅に売上を伸ばしました。また、北米市場においても順調に推移いたしました。

この他、機能性素材製品として、卵黄由来ペプチド「ボーンベップ」、当社の根幹技術による「鶏卵抗体(オボプロン)」、葉酸を高含有した「葉酸たまご」、卵白由来ペプチド「ランベップ」、ヒアルロン酸産生促進素材「iHA(アイハ)」等の各素材を販売しております。

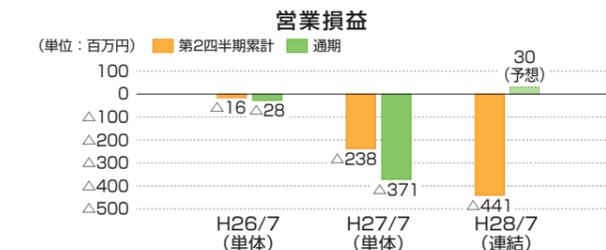
開発面においては、新規素材である発酵青バナナ末由来の「バナファイン」の開発を株式会社ドールと共同で進めてまいりました。同素材の摂取によるインフルエンザの予防効果を検証し、11月に開催された日本ウイルス学会学術集会にて学会発表を行っております。「バナファイン」は、大きな注目を集めており、同素材の事業化を推進してまいります。

この他、卵黄由来の新規育毛活性ペプチド「HGP(Hair Growth Peptide)」、鶏軟骨由来のヒアルロン酸産生促進素材「HAS-II(ハス・ツー)」、卵白由来の

決算ハイライト



※当第1四半期より連結決算を開始したことにより、前期との比較は便宜上単体ベースの実績と比較しております。



※当第1四半期より連結決算を開始したことにより、前期との比較は便宜上単体ベースの実績と比較しております。

株主の状況

株式情報 (平成28年1月31日現在)

- 発行可能株式総数 68,800,000株
- 発行済株式の総数 29,034,200株
- 株主数 12,449名
- 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
金武祐	3,632,200株	12.51%
江崎グリコ株式会社	732,000株	2.52%
益田和行	712,200株	2.45%
キムミレイ	702,000株	2.41%
金英一	700,000株	2.41%
鈴木千尋	700,000株	2.41%
金湧淑	491,600株	1.69%
松井証券株式会社	425,400株	1.46%
渡邊忠之	419,100株	1.44%
三菱商事株式会社	400,000株	1.37%

株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年7月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年1月31日
定時株主総会	毎年10月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いさせていただきます。

会社概要

会社概要

- 社名 株式会社ファーマフーズ
- 本社事務所 〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番地49
- 電話 075-394-8600
- 設立 平成9年9月12日
- 資本金 20億3,127万円(平成28年1月31日現在)
- 従業員数(単体) 46名(平成28年1月31日現在)
- 主要な事業内容 機能性食品素材の開発・販売、通信販売、創薬事業

役員

役職	氏名
代表取締役社長	金武祐
常務取締役	益田和行
常務取締役	堀江典子
社外取締役	佐村信哉
常勤監査役	伊井野貴史
監査役	津田盛也
監査役	辻本真也
監査役	八田信男



機能性表示食品制度 GABAに大きな注目

機能性素材事業

2015年4月より機能性表示食品制度が始まりました。本制度に対応可能な素材である「GABA（ギャバ）」に対し、大きな注目が集まっています。



GABAX
(株式会社プロント)



リラックスカフェゼリー
(安曇野食品工房株式会社)



GABAおかゆ革命
(幸南食糧株式会社)

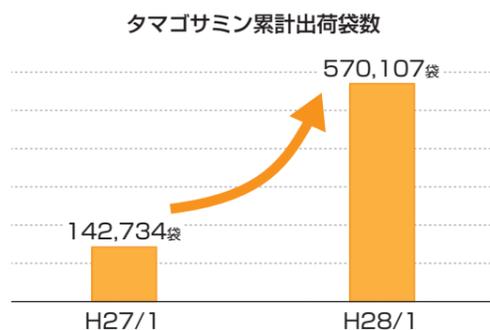


上期も積極的な広告投資を継続

通信販売事業

積極的な広告宣伝投資を上半期に行った結果、顧客獲得が効率よく進展し、売上高が当初予想を大きく上回りました。

下半期以降、収支は大幅に改善し、増収と黒字化を見込んでおります。



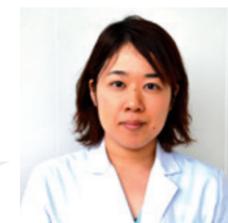
国立がん研究センターと共同開発契約を締結

バイオメディカル事業

国立がん研究センターは、国内最大のがん研究専門施設であり、様々ながんの診療、研究、政策提言等を総合的に行っており、がんに関する最先端の知見や技術などが結集する高度医療研究機関です。「抗FSTL1抗体」の研究開発に加えて、その他の様々ながん悪性分子に対しても新たに抗体を創出・開発し、従来にはない画期的な抗体医薬品及びコンパニオン診断薬などの実用化を目指していく予定です。

～ファーマフーズ VOICE～

我々は、国立がん研究センターとともに、がんの新薬開発に取り組んでおります。抗FSTL1抗体は全国紙に掲載され、国内外の製薬企業からも注目されています。まわりの期待の声を更なる推進力にして、少しでも早く新薬をがん患者さんに届けられるよう、開発を進めてまいります。



バイオメディカル部
石田 有希子



抗FSTL1抗体とは？

FSTL1はがん細胞から放出され、免疫細胞の働きを抑制、ならびにがん細胞の転移性を高めるたんぱく質です。このFSTL1の機能を防ぐ抗体「抗FSTL1抗体」の作製に成功しました。

「抗FSTL1抗体」は、現在がん治療でもっとも注目を集めている免疫チェックポイント阻害剤（免疫抑制を解除）としての機序に加え、がんの転移を抑える機能も有します。

このことから次世代型免疫チェックポイント阻害剤として画期的ながん治療薬と期待されるものです。

抗FSTL1抗体のメカニズム

